

## 社会福祉学科介護福祉専攻 ディプロマポリシーと学習到達度評価表

【質問No】	【評価の数値】→	5 とても期待以上	4 やや期待以上	3 期待どおり	2 やや不足	1 とても不足
↓	1. 人を理解するための幅広い教養と福祉に関する専門的な知識を持ち、福祉の専門職として人を支援するための基本的技術を有している。	講義・演習科目の GPA3.5以上	講義・演習科目の 3.0GPA以上	講義・演習科目の GPA2.5以上	講義・演習科目の GPA2.0以上	講義・演習科目の GPA2.0未満
1	1-1. あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識を習得している。	介護に関する基礎的な知識・技術を的確に用いて実践できる	介護に関する基礎的な知識・技術を理解しており、自分の言葉で説明できる	介護に関する基礎的な知識・技術について理解している	介護に関する基礎的な知識・技術の理解がやや不十分だが、支援を得て述べる事ができる	介護に関する基礎的な知識・技術の理解が不十分で、述べる事ができない
2	1-2. 介護に関する社会保障の制度、施策についての基本的知識を習得し、理解している。	介護に関する社会保障制度や施策についての基礎的な知識を用いて的確に実践できる	介護に関する社会保障制度や施策についての基礎的な知識を有しており、自分の言葉で説明できる	介護に関する社会保障制度や施策についての基礎的な知識を有しており、述べる事ができる	介護に関する社会保障制度や施策についての基礎的な知識の理解がやや不十分だが、支援を得て述べる事ができる	介護に関する社会保障制度や施策についての基礎的な知識の理解が不十分で、述べる事ができない
3	1-3. 介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について理解している。	介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について、他者に理解しやすく説明できる	介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について、自分の言葉で説明できる	介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について理解している	介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について理解がやや不十分だが、支援を得て述べる事ができる	介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について理解が不十分で、述べる事ができない
4	1-4. あらゆる介護場面に共通する基礎的な技術を習得している。	あらゆる介護場面に共通する基礎的な技術を、自ら実践し、かつ説明できる	あらゆる介護場面に共通する基礎的な技術を、自ら実践できる	あらゆる介護場面に共通する基礎的な技術を、支援を得て実践できる	あらゆる介護場面に共通する基礎的な技術について述べる事ができる	あらゆる介護場面に共通する基礎的な技術について理解も習得もしていない
5	1-5. 介護実践の根拠を理解している。	介護実践の根拠を理解しており、他者に理解しやすく説明できる	介護実践の根拠を理解しており、自分の言葉で説明できる	介護実践の根拠を理解しており、述べる事ができる	介護実践の根拠についての理解がやや不十分だが、支援を得て述べる事ができる	介護実践の根拠の理解が不十分で述べる事ができない
6	1-6. 利用者本位・自立支援に資するサービスを総合的、計画的に提供できる能力を身につけている。	利用者本位・自立支援に資するサービスを自ら提供できる	利用者本位・自立支援に資するサービスを、支援を得て提供できる	利用者本位・自立支援に資するサービスについて述べる事ができる	利用者本位・自立支援に資するサービスについての理解がやや不十分だが、支援を得て述べる事ができる	利用者本位・自立支援に資するサービスについての理解が不十分で述べる事ができない
	2. 福祉の専門職として人権を尊重する高い倫理観を有し、専門的な知識を活用しながら、保健・医療・福祉・教育の関連職種と連携して、主体的に問題を解決する能力を有している。	実習科目の GPA3.5以上	実習科目の GPA3.0以上	実習科目の GPA2.5以上	実習科目の GPA2.0以上	実習科目の GPA2.0未満
7	2-1. 情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。	介護に関わる問題を科学的あるいは法的根拠に基づいて複眼的、論理的に分析し、解りやすく説明できる	介護に関わる問題を複眼的、論理的に分析し、説明できる	介護に関わる問題を複眼的、論理的に自ら理解する態度を有している	介護に関わる問題を、支援を得て複眼的、論理的に理解することができる	介護に関わる問題について、複眼的、論理的に理解する態度を有していない
8	2-2. 問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。	介護に関わる問題を自ら発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決するための方法を自ら考え、実践することができる	介護に関わる問題を自ら発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題の解決に向けて取り組むことができる	介護に関わる問題について、解決に必要な情報を収集・分析・整理することができる	介護に関わる問題について、支援を得て、解決に必要な情報を収集・分析・整理することができる	介護に関わる問題について、解決に必要な情報を収集・分析・整理することができない
9	2-3. 自らを律して行動できる。	人権を尊重する高い倫理観を有し、自らを律しつつ、利用者の支援に向けて行動できる	自らを律しつつ、利用者の支援に向けて行動できる	自らを律することの意義と方法について述べる事ができる	支援を得て、自らを律することの意義と方法について述べる事ができる	自らを律することの意義と方法について理解が不十分で述べる事ができない
10	2-4. 他の職種の役割を理解しチームに参画する能力を身につけている。	課題解決のために、他者に方向性を示し、目標の実現のためにグループを形成し、活動することができる	グループにおいて他者と協調・協同しながら、課題解決に向けた方向性を示すことができる	グループにおいて他者と協調・協同して行動することができる	グループにおいて自分の役割を自覚し、活動に積極的に参加できる	グループ活動に積極的に参加できない
11	2-5. 尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理を身につけている。	尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理を身につけており、自ら実践できる	尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理について、自らの言葉で説明できる	尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理について、延べることができる	尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理について、支援を得て延べることができる	尊厳を支えるケア、人権擁護の視点に立った倫理についての理解が不十分で述べる事ができない
12	3. 人や地域社会とあたたかい関わりをもち、円滑な人間関係を築き上げるコミュニケーション能力を有している。	ボランティア等の社会貢献活動に積極的かつ継続的に取り組んでいる	ボランティア等の社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	ボランティア等の社会貢献活動に参加している	ボランティア等の社会貢献活動に支援を得て参加している	ボランティア等の社会貢献活動にほとんど参加していない
13	3-1. コミュニケーションのとり方の基本を身につけている。	利用者にも与える影響を考慮した上でコミュニケーションをとることができる	利用者の特性を理解して、適切なコミュニケーションをとることができる	利用者にも合わせたコミュニケーションができる	支援を得て、利用者にも合わせたコミュニケーションがとれる	利用者にも合わせたコミュニケーションがとれない
14	3-2. 他者に共感でき、相手の立場に立って考えることができる姿勢を身につけている。	他者に共感し、相手の立場に立って考える姿勢に基づいて問題解決に向けて、自ら行動できる	他者に共感でき、相手の立場に立って考える姿勢に基づいて行動できる	他者に共感でき、相手の立場に立って考えることができる姿勢を身につけている	他者に共感する姿勢を身につけている	他者に共感する姿勢を身につけておらず、相手の立場に立って考える事ができない
15	3-3. 的確な記録・記述の方法を身につけている。	読み手に与える影響を考慮した上で感じたことや考察したことを記述することができる	読み手に解りやすく感じたことや考察したことなどを記述することができる	感じたことや考察したことなどを十分かつ正確に記述することができる	感じたことや考察したことなどを文法に従って記述することができる	感じたことや考察したことなどをきちんと記録することができない
16	4. 福祉の専門職として、よりよき社会の形成に自ら貢献する生涯学習力と実践力を有している。	自ら課題を見つけ、授業時間外の自己学習に積極的に取り組み、学内外の講演会や研修等に積極的に参加している	授業時間外の自己学習に自発的に取り組み、学内外の講演会や研修等に自主的に参加している	授業時間外の自己学習に取り組み、学内外の講演会や研修等に参加している	事前事後課題に取り組み、学内外の講演会や研修等に支援を得て参加している	自己学習に取り組まず、学内外の講演会や研修等にほとんど参加していない